

2008年12月11日  
日本原燃株式会社

## ガラス溶融炉（A系列）内におけるかくはん棒の曲がりについて

ガラス溶融炉につきましては、かくはん棒の動きが鈍くなったことから、12月10日にガラス溶融炉内にカメラを挿入し、かくはん棒の状態の確認を開始しました。その過程で、かくはん棒が曲がっていることがわかりました。

これに伴い、ガラス溶融炉内部に損傷を与えた可能性が考えられることから、本事象については、「使用済燃料の再処理の事業に関する規則」第19条の16第2号に該当するとして国に報告し、また、同旨を青森県、六ヶ所村に対してA情報として連絡しましたのでお知らせいたします。

なお、本事象による施設内外への放射線等による影響はありません。

かくはん棒の状態  
再処理事業所 構内配置図

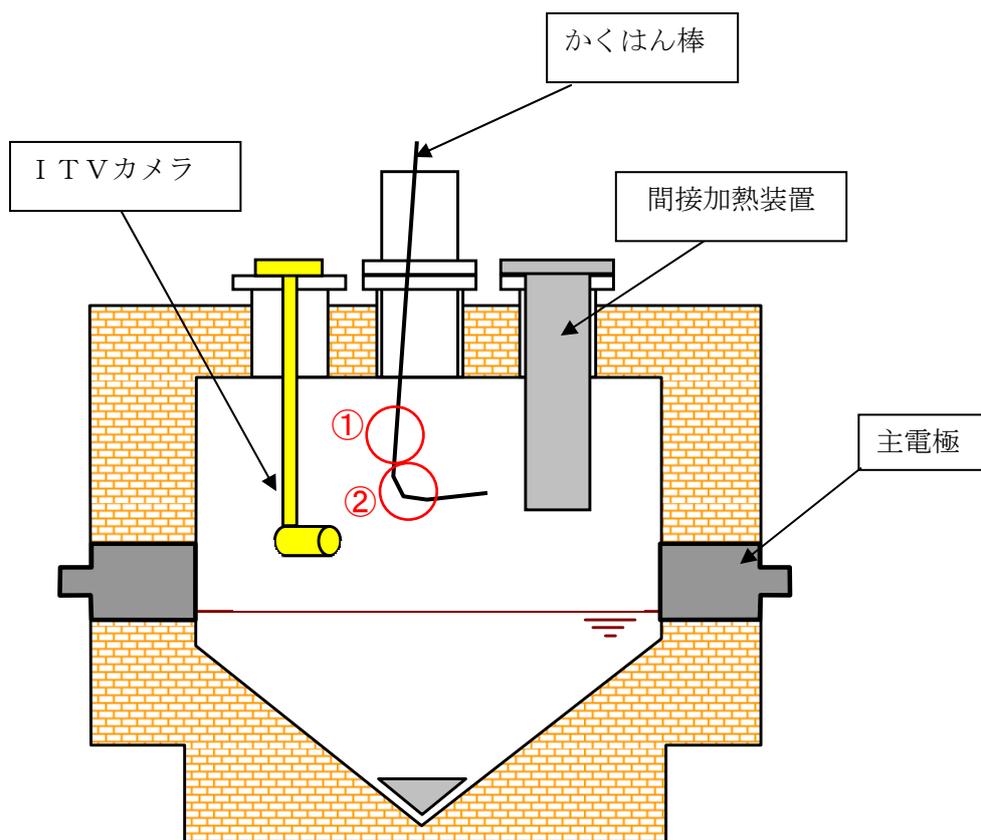
以上



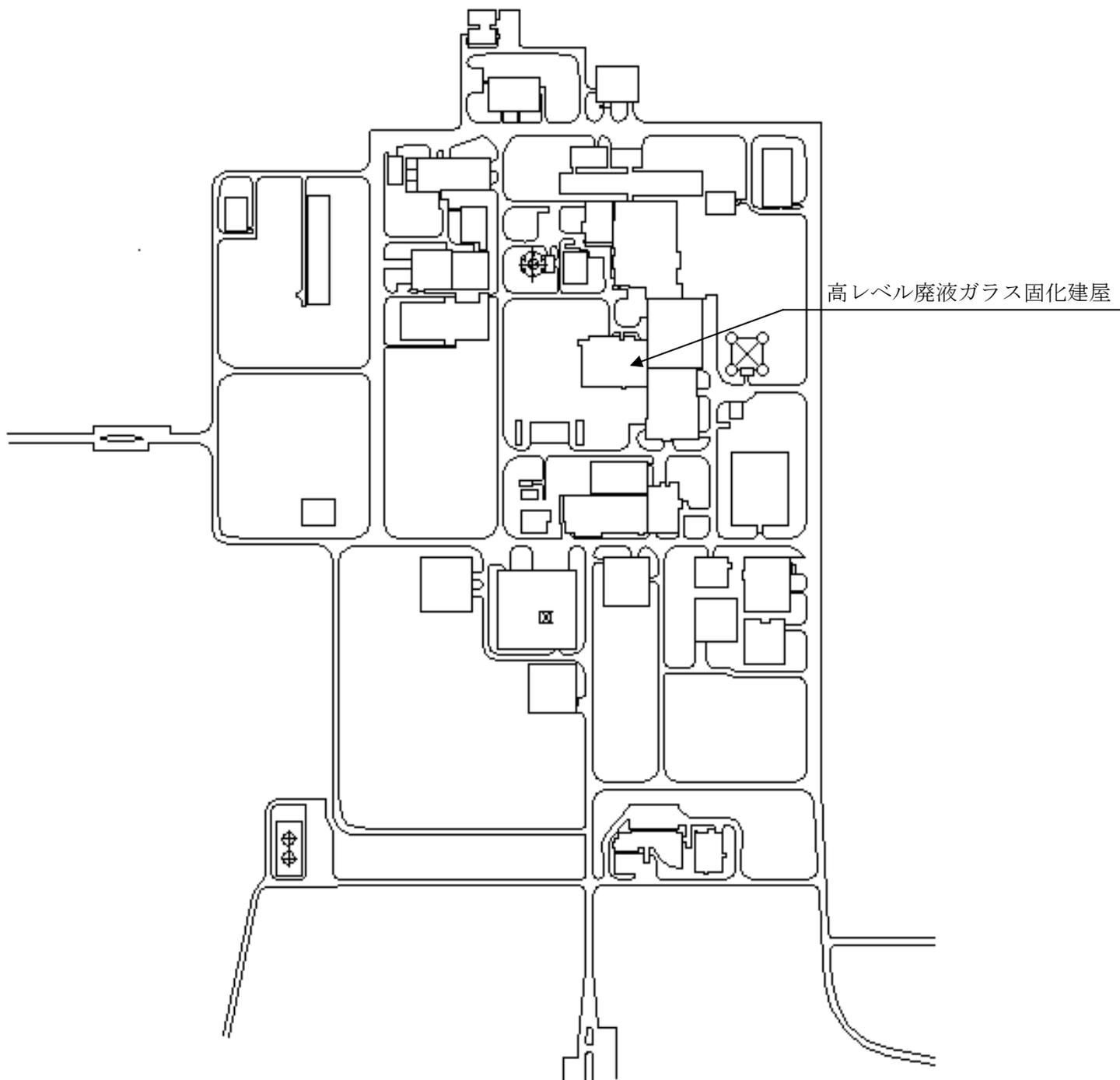
曲がり部



曲がり部



かくはん棒の状態



再処理事業所 構内配置図